

企業ガバナンス部会一研修会（第12クール） 「2016年10月～2017年5月」

統一テーマ： 攻めと守りのバランスのとれた企業統治が求められる中で、活躍できる社外取締役・監査役をめざす

2017.2.1

回次	開催日時	カリキュラム項目	講師	視点	場所	担当世話役
1	2016.10.20 (木) 午後3時～5時	その後のオリンパス 何を学ぶそして復活の要因	北村 正仁氏 — オリンパス株式会社 メディカルアフェアーズ・CSR 統括室CSR本部長	オリンパスの不正会計処理発生以降、社外の眼を入れたガバナンス体制の見直しをしてきた。現在、業績は好調です。その要因を現在に役員から語って頂きます。	学士会館 203号室	橋本
2	2016.11.15 (火) 午後2時～4時	上 場企業の社外役員として、「企業の（理論的）価値」を投資家がどのように計算しているのか理解する —企業価値評価としてのDCF法の基本と具体例—	鈴木 一功氏 早稲田大学ビジネススクール教授	投資家が企業の理論的価値を計算する際に用いている、ディスカウント・キャッシュフロー法（DCF法）の概略を、実際の企業の評価事例を示しながら解説します。	学士会館 203号室	鈴木
3	2016.12.16(金) 午後3時～5時	コーポレート・ガバナンス体制の変更について —監査等委員会設置会社への変更への対応—	— 松田 千恵子氏 首都大学東京 大学院教授	改正会社法により、監査等委員会設置会社への監査役会設置会社からの移行が急増しています。この背景についての説明と役員として対応についてご説明頂きます。	学士会館 203号室	上原
4	2017.1.23 (月) 午後3時～5時	多発・多様な企業不祥事について —第三者委員会の実際—	— 末永 聡氏 弁護士、佐藤総合法律事務所	最近の不祥事が発生すると、第三者委員会による事実検証と対応策提案が多いです。実際に、第三者委員会は、どのような活動をし、課題を抱えているか、実例を含めて説明頂きます。	学士会館 203号室	三神
5	2017.2.14(火) 午後3時～5時	最近の社外取締役・監査役の実務課題 —この一年間のまとめと今後への展望—	杉田 純氏 三優監査法人統括代表社員	人気講座です。前回以降の企業を取り巻く環境変化についてご説明と、今後の展望と対策について、お話しを頂きます。配付資料は、貴重な情報源として好評です。	学士会館 203号室	富沢
6	2017.3.8 (水) 午前10時～12時	パネルディスカッション —社外取締役と機関投資家が語る—	コーディネーター：三神氏 司会：上原氏 パネリスト：中神氏、銭谷氏、橋本健氏、平井隆氏	DF会員の現職社外取締役と、機関投資家から、経営戦略とガバナンスについて考えを頂き、次に、会場からのQ&Aでの議論を通じて、実際と有るべき姿を考える	学士会館 203号室	平井
7	2017.4.18 (火) 午後2時～4時	国際税務対策を考える —パナマ文書とアジア諸国への対応—	— 村田 守弘氏 公認会計士・税理士	「パナマ文書」が公表されましたが、その真の問題点とアジア進出の際の税務リスクについて、社外役員・監査役として把握しておくべき点について説明頂きます。	学士会館 203号室	上原
8	2016.5.17 (水) 午後3時～5時	M&A の現場から語る実際 —日本企業の海外買収失敗からの教訓—	藤村 峯一氏 元ブリヂストン欧州社長	日本では、数少ないM&A成功企業で、実際にデールに携わった方から、デールの実際と、今後への教訓についてお話を頂く。	学士会館 203号室	橋本